

2024年を象徴するカー用品の傑作とは!?

**発表!** カーグッズ  
オブ・ザ  
イヤー  
C G O T Y 2024

年末大掃除を上質に、気持ちよく!

**洗車** グッズ&  
ノウハウ

季節  
特集



一年の労に報いる愛車へのギフト

**ご褒美オイル**  
【 銘柄推奨 】 CATALOG



奮発!?! の未来ターゲット

【 AV 特集 】  
**音と映像**  
の最新テクノロジー



帰省・行楽その前に

【 バイヤーズガイド 】

**年始ドライブ**  
携行グッズ心得



昭和の慣例をいま再び!

Let's  
The **正月飾り**  
【 DIY 特集 】

**愛車の  
年越し。**

締めくくりの**年末**  
気持ちよく迎える**新年**

# 上質ドアチューニングの音響アドバンテージ

良音の環境作りを実際の施工シーンでチェック



ドアチューニングはノーマルの車体で不足した環境を整える最善策。特にプロの施工術なら車体のヤワな部分を見つけ出し、効率的に振動を抑えるのは見どころだ。愛車のサウンドをワンランク上に引き上げる、上質素材とプロの技術に注目だ。

まとめ:渡辺大輔 写真:前田恵介

良い素材を適量で効率よく音響空間作りは料理と似てる!?

ここ数年の純正カーオーディオでは、有名メーカーのユニットを加えた、ハイグレードモデルも用意されている。しかし、それらはあくまでもスピーカーやアンプといった装備品の変更が大半。また、スペックこそ上昇するものの、ハイグレードオーディオを狙うまでの本質的な改善が行われているとはなかなか言い難いのが現実だ。

カーオーディオのパフォーマンスを引き出す上では、環境を整えることが何よりも重要である。スピーカーに合わせてボディパネルが共振してしまつてはその本領を発揮することは叶わない。立派な上屋が機能するのも、安定した土台の確立が大前提。そこで注目したいのが、ドアチューニング施工となる。

## ハイグレード素材&的確なインストールが車内音響空間のベースを引き上げる

ただ、一口にドアチューニングといつても、使用する素材や施工技術によつてレベルに差は出る。ここで紹介するオーディオテクニカ『AT-AQ705』は、少量でも制振効果が高いヴァージンブチルゴムを使用することで効果を高めている。また、吸音材のアコースティックコントロールシートは、スピーカーサイズに合わせ、コントロールチップを取り外してチューニング可能。奥深いハイグレードモデルだ。

より上質を狙うなら、施工方法でも差が生まれる。「防振材や制振材は貼れば貼っただけ効果が得られるのですが、それだけ重量がかさんでしまうため、走行性能を落としてしまうことにもつながります。そのため、必要な部分を見極め最小限の施工が差を生むポイントですね」とは、今回の取材に対応してくれたサウンドクオリティー代表の越野さんによる弁。

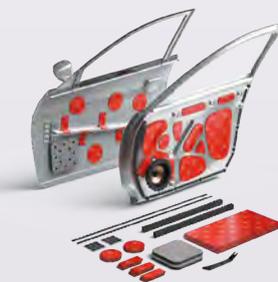
### Step1 ドアパネル取り外し



内張りを外したところで、ドアインナーパネルに付くサービスホールカバーやスピーカーも取り外す。



ドア内張りの外し方は外周のクリップやドアハンドル付近の隠しネジなど、車種によって異なる。傷つけないように養生を施しながら作業を行う。



audio-technica  
ドアチューニングキット  
ハイライン  
AT-AQ705

価格: 3万6300円

オーディオテクニカ

0120-773-417

<https://www.audio-technica.co.jp>

上質な素材を最適に使つてこそ、ワンランク上の音場が仕上がる。その方法論は料理と似ている。素材の良さを使いこなし、アレンジする楽しみもまた、今も昔も変わらないドアチューニング人気の理由だろう。

Step3 吸音材貼り付け



スピーカーが発する不要な音の反射を抑えるのが吸音材の機能。ドア内部に貼り付けるため、ハイグレードモデルでは排水性の高い素材を使用しているのも特徴。



施工が必要な箇所を把握したところで、次にスピーカー裏の OUTER パネルに吸音材を貼り付ける。装着するスピーカーサイズに合わせてコントロールチップを抜き取る。

Step2 施工部分確認



最近のモデルではサービスホールカバーが樹脂製に変更されていることが多く、この振動もスピーカー性能をスポイルする。そのため軽く叩きながら施工部分を探っていく。

Step5 防音材貼り付け



防音材はインナーパネルとドアトリムの隙間を埋めることで、振動音や軋み音を防ぐための部材。クリップダンパーなどを貼り付ければ万全。

Step4 制振材貼り付け



細長いポイントチューニング用はサイドピームなどの構造物と OUTER パネルを繋ぐことで共振を防ぐ。付属のヘラで密着率を高めるのも作業のポイント。



制振材は施工箇所や目的に合わせて3種類が用意される。 OUTER パネルに貼るタイプはスピーカーとの共振を抑えるための部材。

Sound Quality

デッドニングからカスタムオーディオまで、音に関するあらゆるニーズに対応するスペシャリストがサウンドクオリティー。今回のデッドニングのような車種ごとに異なるチューニングも得意としているため、カーオーディオでお困りなら相談してみてもらいたい。



左は代表の越野圭一郎氏、右はインストラーの竹中智章氏。



**サウンドクオリティー**  
 千葉県千葉市稲毛区長沼原町195-3  
 ☎043-441-6391  
 営業時間:10:00~19:00  
 定休日:水曜・木曜日  
<https://www.sound-quality.jp>



車種によるものの、基本はキット1つで左右ドア2枚を十分に賄えるため、余った制振材を使ってドア内張の振動を抑えるといった使い方も可能だ。



先ほどの確認でサービスホールカバーなどインナーパネルも施工が必要と判断。インナーパネル用は大きめのシートのため自由にカットして施工できる。



プロの手によるドアチューニングではご覧のように多くの部分に制振材が張り込まれる。余分な振動やスピーカーからの反響を抑えることで、純正スピーカーでも音のクレが格段に向上しているのは大きなメリットだ。

完成

ドアチューニングで低音域のクレが変わる！